

平成 27 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 シミックホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役 CEO 中村 和男
 (コード番号 2309 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 望月 渉
 (TEL. 03-5745-7070)

平成 27 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 11 月 5 日に公表いたしました平成 27 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。併せて、役員報酬の減額を実施いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,000	1,000	800	600	33.34
今回修正予想 (B)	26,510	540	380	110	6.11
増減額 (B-A)	△490	△460	△420	△490	—
増減率 (%)	△1.8	△46.0	△52.5	△81.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 9 月期第 2 四半期)	25,506	1,743	1,741	745	41.45

(注) 当社は平成 27 年 3 月 1 日付の株式会社 JCL バイオアッセイとの株式交換に伴い、発行済株式数が 701,709 株増加しております。第 2 四半期連結累計期間業績予想の「1 株当たり四半期純利益」につきましては、分母の期中平均株式数を算出するにあたり、当該発行済株式の増加を反映させて、算定を行っております。

2. 修正の理由

平成 27 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間は、売上高につきましては、主に、CMO 事業においてシミック CMO 足利株式会社の一部品目の売上が下期にずれこんだこと、CSO 事業において製薬企業の経営効率化の取組みの過程において MR 派遣のニーズが短期的に弱まったこと等により、当初計画を下回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、CMO 事業及び CSO 事業の売上高の減少に加え、ヘルスケア事業の SMO (治験施設支援機関) 業務において、新規受託の獲得に邁進しているものの当初想定を下回り、稼働率が低下し原価率が上昇したこと等により、当初計画を下回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、営業利益の減少に伴い、当初計画を下回る見込みとなりました。

四半期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、税率変更に伴う繰延税金資産の取崩し等による税金費用の増加により、当初計画を下回る見込みとなりました。

3. 通期連結業績予想の修正（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 56,300	百万円 2,500	百万円 2,200	百万円 900	円 銭 50.01
今回修正予想（B）	55,700	1,300	900	300	16.35
増減額（B-A）	△600	△1,200	△1,300	△600	—
増減率（%）	△1.1	△48.0	△59.1	△66.7	—
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 9 月期）	52,836	2,766	2,645	1,174	65.26

（注）当社は平成 27 年 3 月 1 日付の株式会社 JCL バイオアッセイとの株式交換に伴い、発行済株式数が 701,709 株増加しております。通期連結業績予想の「1 株当たり当期純利益」につきましては、分母の期中平均株式数を算出するにあたり、当該発行済株式の増加を反映させて、算定を行っております。

4. 修正の理由

通期連結業績は、売上高につきましては、CRO 事業において第 3 四半期連結累計期間から株式会社 JCL バイオアッセイを新規に連結することにより増加いたしますが、CMO 事業において受注が当初想定を下回っていること、ヘルスケア事業の SMO 業務において、新規受託の獲得に邁進しているものの当初想定を下回っていること等から、当初計画を下回るものと想定しております。

営業利益につきましては、CMO 事業の売上高の減少に加え、ヘルスケア事業の SMO 業務において、新規受託の獲得に邁進しているものの当初想定を下回り、稼働率が低下し原価率が上昇したこと等により、当初計画を下回るものと想定しております。

経常利益につきましては、営業利益の減少に伴い、当初計画を下回るものと想定しております。

当期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、税率変更に伴う繰延税金資産の取崩し等による税金費用の増加により、当初計画を下回るものと想定しております。

今期業績の見通しは厳しい結果を想定しておりますが、来期（平成 28 年 9 月期）の業績 V 字回復を目指し、赤字事業の解消及びコスト構造の改革を推進する Project Phoenix において、CMO、SMO、IPD の 3 事業の業績改善に向けてグループ一丸となって取組みを進めております。各事業の進捗といたしましては、CMO 事業においては、構造改革への取組みによる原価低減及び積極的な受託活動に伴い、案件の引合いは増加傾向にあり、来期における業績の回復を見通しております。SMO 業務においては、業界の競争激化及び受注進捗の遅れにより業績回復はいまだ途上であるものの、前期に比べ受注高は増加しており、来期業績の改善に向けたコスト構造改革の実施と更なる新規受託の獲得に邁進しております。IPD 事業においては、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）等の製造販売承認の承継を製薬企業と契約するなどの新たな取組みを通じて、収益化の道筋がつつきつつあります。上記 3 事業以外の CRO 事業、CSO 事業につきましても更なる業績の伸張、利益率の向上を通じて、連結業績の回復を促進すべく尽力しております。

5. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想について

剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想については、変更ありません。

6. 役員報酬の減額について

当社は、このたびの業績予想の下方修正を経営陣一同真摯に受け止め、責任を明確にするべく、取締役及び執行役員の役員報酬を 6 ヶ月に亘り 10% 減額いたします。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上